

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	三遠南信中学生交流事業	会計	一般会計	事業No.	720	施策順No.	82-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-3-2-10-1		
政策	8 交流と連携が活力を生むまちづくり			課等名	学校教育課		
施策	82 三遠南信・中京圏の連携推進			事業期間	開始	11	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	三遠南信地域の中学生						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		交流会参加校	10	10	9	9	9		
	意図	将来を担う中学生が、三遠南信構想が進展する中で、教育における交流を推進し、「街づくり」や「生徒会活動」などを語り合うことを通じて、未来の地域づくり・人づくりを目指す							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		交流会の参加人数	138	139	136	135	137	137	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		3市の中学生の交流人数を目標としており、中学生の意欲的な参加が伺える							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 当該三市は秋葉街道・天竜川の水運や飯田線を通じて古くから人的・物的交流があった。戦後は天龍奥三河国定公園の指定を受け、自然・電源・農業・工業など総合的な開発が進められ、現在ではトライアングル構想のもと文化的・教育的な交流が重視されてきている。</p> <p>2 このようなことから、地域の未来を創造していく子どもたちが、お互いの学校の様子や生徒会活動の様子、地域の様子などをお互いに話し合い、共感や意見交換ができ、自分達の住む街を知り、街づくりへの意識を深め将来三市の中核となって活躍する人材育成を目的とする。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 浜松市にて開催 (1)飯田市の参加生徒を対象に事前オリエンテーションの実施 (2)交流会開催(意見交換会)	参加生徒	135人
23年度実施計画	1 飯田市にて開催 (1)3年に一度の受入年 (2)受入を行うための関係機関等との調整 (3)飯田市の参加生徒を対象に事前オリエンテーションの実施 (4)交流会開催(意見交換会、市内施設見学)	参加生徒	137人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		518	518	558		
計 (A)		518	518	558		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			0			
トータルコスト A+B			518			

4 事業に対する市民や議会の意見

重要だと感じている市民の割合は高いが、実際に参加している市民の割合は少ない。
----------------------------------------

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	三遠南信・中京圏と ①共通の課題を認識する ②協力し補完しあう	施策の成果指標又はムトス指標	都市間交流に参加している市民の割合 (三遠南信・中京圏) 三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思う市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加生徒は帰校後、全校対象に報告会を行っているため、三遠南信交流が生徒間で位置づいている。参加承諾をした保護者にも趣旨説明の通知をするので、三遠南信交流事業に対する理解が広がる。</li> </ul>		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加生徒に対し、事前オリエンテーションを行い、三遠南信交流の歴史や意義などを学んでから臨むようにしている。</li> <li>交流会後は感想レポートを交換し合ったり、各校で報告会を行っている。</li> </ul>		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>経費は貸し切りバス代や宿泊施設代など最低限のものであり、これ以上の削減は難しい。</li> </ul>		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接的な受益者は三遠南信地域の中学生であるが、将来の自主的交流等にむけ市が関与し、交流の場を設ける必要がある。</li> </ul>		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>三遠南信地域の中学生たちにとって本事業は、他の地域のことを知り、理解を深めるとともに、自分たちの住む地域について改めて考えるきっかけともなっている。</li> <li>今後三遠南信地域の連携・交流は益々重視されてくると考えられる。交流会の内容や関連学習についてより良いものとなるよう検討を重ね、三遠南信交流の重要性を認識してもらえるようにする。</li> </ul>		
	後期に向けた課題			

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------